



「その子らしさ」を伸ばすには

～井荻小学校の特別支援教育～

校長 梅津 典子

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては素晴らしい新年をお迎えのことと思います。1月とは思えないほどの穏やかな天候で、ゆっくり過ごされたのではないのでしょうか。昨年は天災や事件が多く、自然の猛威や心の痛む出来事に心の沈むことの多い日々でありましたが、今年は、明るく、活発で生き生きと行動する「さる」のように元気に過ごせる年でありたいと願っています。

さて、以前こんな新聞記事を読んだことがあります。

「アメリカのある動物園で、入園者が一つの動物を眺める時間は、平均5～10秒。これでは、動物の行動などはほとんど分からない。カバはずいぶん長く水に潜っていると、入園者は感じているが、実は平均90秒。どんなに長くても5分。カバが自ら顔を出すまで、見る方がゆっくり待てないから、長く感じる。……」

動物園に動物を見に行ったにもかかわらず、動物の様子をじっくり見ることもしないで通り過ぎてしまう大人の「ゆとり」のなさを表しています。このことは、私たち大人が子どもと接する場合もよく当てはまるのではないのでしょうか。5分どころか1分も待てずに指示語を子どもに投げかけているのは、「待つゆとり」のなさのためでしょうか。

子どもは、生まれながらにして個性的な存在です。一人一人が違った感じ方や考え方をしますし、表現の仕方や内容もさまざまです。そこで、子どもの持っている個性（その子らしさ）を表出させるためには、子どもが自由に表現できる環境を整えて、後はじっくり見守っていくことが必要です。

しかし、子どもには人間として幼い面やよくわか

らない面が多くあります。大人から見ると、「なぜ、こんなことをするのだろう」「何回も言っているのに」「自分の小さい頃は、こうではなかった」など、つい、自分の今までの経験から子どもをとらえようとしているように思います。

子どもは一人一人違います。みんな同じではありません。その子らしさを伸ばすために、私達教員も、一人一人の子どもについて話し合っています。その過程で、話し合ったことを“ほっとほっとタイムズ”でお知らせしています。「子どもの行動をどうとらえるか」「子どもにどんな声かけをすればいいのか」「子どもをどのように伸ばしていったらいいのか」保護者の皆さまの悩みもさまざまです。

一人一人の違いを生かして、その子らしく伸ばしていくためには、どの子どもにも特別な支援が必要です。支援の方法は一人一人違い、必要な時期も時間もさまざまです。井荻小学校では、特別支援教育コーディネーターを中心に、いつでも気軽に相談できる体制を整えています。今年も、一人一人の子どもが伸びて学び合える学校を目指していきます。



冬の野鳥観察会

12月1日（火）3年生から6年生までの児童が善福寺公園に野鳥観察会へ行きました。
ゲストティーチャーの方々にご協力いただき、学年ごとの学習のめあてをもって観察しました。



目を閉じて耳を澄ますと、
いろいろな自然の音が聞こえました。



3年生はビンゴをしながら
自然と触れ合いました。



似ているようで、よく見ると種類によってくちばしや羽の色が違うことを見つけました。



鳥を見つけては興味津々。6年生は双
眼鏡で見つけるのも早いです。



自然に囲まれて、心がほっとする、いい時間となりました。



守ろう、みんなの善福寺川

井荻小の敷地内を流れる善福寺川。野鳥も多く訪れる豊かな自然環境は、井荻小の自慢の一つです。しかし、よく見ると川には空き缶やビニール袋が落ちていることに気がきます。氾濫を防ぐために掘り下げられ、コンクリートで固められた川から、これらのゴミを拾い出すことはできません。

今からちょうど5年前、当時の5年生が社会科の学習で、京都の鴨川について学習しました。工場排水などで汚れていた鴨川が、市民や行政など様々な人の協力により美しさを取り戻したことを知り、「自分たちにもできることはないか」と自主的に周辺道路の清掃活動を始めました。川の中のゴミは拾えなくても、道路のゴミは拾うことができます。実は、善福寺川をはじめ、都市河川の多くは大雨が降ると下水が川に流れ込む仕組みとなっています。つまり、周辺道路に落ちているゴミは、排水溝から下水管を通して川に流れ込んでしまうのです。

この清掃活動は、6年生の伝統となり、卒業が近くなると最上級生のバトンと共に引き継がれます。今も週に1回、放課後に自主的に集まって活動を続けています。

～放課後の清掃活動～

井荻小を出発して川沿いを進み、善福寺公園の下池を1周しながら1時間ほどゴミを拾います。この区間に、1kgを超えるゴミを拾ったり、たばこを103本も拾ったりした日がありました。落ちているゴミの多くは、残念ながら大人が捨てるゴミです。

活動を続ける秘訣は、「楽しむこと」だそうです。やらされるのではなく、自分から動く“生きた学び”がここに 있습니다。



～川の中の清掃活動～

道路を清掃していると川の中のゴミが目につきます。しかし、善福寺川は区の許可がない限り、中に入ることにはできません。普段、子どもたちは、「あのゴミを拾いたい!」と、手の届かない所から悔しい思いをしています。

井荻小の6年生は年に1度だけ、すぎなみ環境ネットワークの協力を得て、川の中に入っの清掃活動を行っています。川に降りてみると、草に絡まった白い紙のようなものに気がきます。これは、大雨の際に下水と一緒に流れてきたトレット[®]-パ-です。せっかくの湧水と豊かな自然も、これでは台無しです。



草に絡みついたトレット[®]-パ-

～夢水路実現に向けて～

善福寺公園には、上池と下池をつなぐ、通称“ほたる水路”と呼ばれる小さな水路があります。杉並区はこの水路を、地域と連携して理想の川に改修する計画を進めています。

この計画は、昨年度、井荻小学校の5・6年生100人余りが描いた「夢水路の設計図」を、代表児童が杉並区長に直接手渡したことから動き出しました。現在は、区役所、工業者、地域の方々に、井荻小の6年生を交えて行われた4回のワークショップで出された意見を基に、夢の実現に向けて具体的なプランができつつあるところです。6年生は大人の前で堂々と、自分たちの思いを伝えることができました。行動を伴った言葉には、やはり重みがあります。

1月行事予定

1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	冬期休業日終
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	始業式・大掃除
13	水	給食始・委員会
14	木	計測（6年）
15	金	避難訓練・書き初め展始・計測（5年）
16	土	
17	日	
18	月	クラブ
19	火	理科出前授業（3年）計測（4年）
20	水	計測（3年）
21	木	計測（2年）・書き初め展終 B時程5時間
22	金	計測（1年）
23	土	土曜授業
24	日	
25	月	
26	火	保育園訪問読み聞かせ（5年） B時程6時間
27	水	
28	木	
29	金	理科出前授業（4年）
30	土	水鳥の棲む水辺シンポジウム
31	日	もちつき大会

*B 時程の下校時刻は 5時間の場合 14:15
6時間の場合 15:05

1月の生活目標 「心と体をきたえよう」

生活指導部 片桐 郁夫

例年になく、暖かい日が続いています。しかし油断は禁物！1年間で最も寒い時期となります。そして、インフルエンザが猛威をふるうのもこれからです。予防のためには、もちろんうがいや手洗いが大切ですが、外に出て、運動することも必要です。

免疫力を高めるビタミンDは、太陽に当たることで体内に生成されるそうです。元気に外遊びをすることは、楽しむだけでなく、体に様々な力をつけてくれるのです。では「心をきたえる」には？やはりそれも、たくさんの友達とふれあう中で育んでいくことではないでしょうか。一人で部屋の中にこもっていないで、さあみんな、外に出よう！

本校児童が賞を受賞しました。

第12回杉並・本の帯アイディア賞「本の帯コピー賞」受賞
2年1組 石川由乃さん 書名「としょかんライオン」
おめでとうございます！

お知らせ・・・ぜひご鑑賞ください。

平成27年度 校内書き初め展

○期間 1月15日（金）～1月21日（木）

○時間 9:00～16:30

○場所 井荻小学校・特活室

今年度も子どもたちの作品を一齐に展示した「書き初め展」を開催します。ぜひご覧ください。

※履物をお持ちの上、新校舎入口より直接お入りください。

平成27年度 杉並区立小学校連合作品展

図工・書写・夏の自由研究（科学）の学校代表作品が展示されます。

○期間 2月5日（金）～7日（日）

○場所 セシオン杉並

*詳しくは、後日お知らせいたします。

書き損じ年賀状・未使用の官製はがき・未使用の切手がありましたらぜひ寄贈してください。

杉並区では、「杉並区民の手でネパールに学校を！」という活動を続けており、その支援となるハガキなどを毎年寄贈していただいています。本年度もありましたら、ぜひ、お願いいたします。

寄贈場所→井荻小学校事務室前「書き損じハガキ寄贈BOX」内

受付期間→2016年2月末日まで